

文化財のギモン①

Q 文化財ってなに？

A 未来へ受け継ぐ、地域のたからです。

長い年月のなかで、生まれ、育ち、守られてきた、地域の歴史と文化。

それらを未来に伝えるための方法の一つが、文化財という制度です。

文化財にすることによって、広く知ってもらうとともに、未来へ受け継ぐための保存と活用が行われます。

文化財には、建物や絵画、祭り、遺跡、里山などの景観、古い町並み、さらには伝統的な技術など、多くの種類があります。

文化財メモ

犬も文化財？

動物も天然記念物という文化財の一つです。コウノトリやカモシカもそうです。写真は越後の犬。戦前に指定され、戦後ほとんど姿を消してしまっています。見つけたら、ぜひご一報を。



この秋だけの

ふくい歴史・文化を 楽しもう

ふくい文化財体験月間 2014

10月>>11月



文化財のギモン②

Q 自分のまちにもあるの？

A みんなの市や町にあります！

○国指定と県指定の文化財

ホームページ「福井の文化財」で、地域別に文化財を見ることができます。

<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bunkazai/>

○市・町指定の文化財

各市町教育委員会のホームページで検索。

文化財のギモン③

Q 最新の文化財ニュースは？

A 文化財は今も増えています！

昨年度、県内では、国指定3件、県指定8件、市・町指定5件、国登録4件の新しい文化財が増えました。文化財になっていなくても、大切なものはまだまだあります。きっとあなたの近くにも。

若狭さとうみハイウェイで
でかけよう！



発行

平成26年9月

発行者

福井県教育庁生涯学習・文化財課
〒910-8580 福井県福井市大手3-17-1
TEL: 0776-20-0579



さあ この秋は 若狭さとうみハイウェイで 出かけよう！

今年7月、舞鶴若狭自動車道の小浜—敦賀間（愛称：若狭さとうみハイウェイ）が開通し、県内の高速道路がつながりました。

毎年10月・11月は「ふくい文化財体験月間」です。今年は、舞若道開通を記念し、高速道路沿線の地域ごとに、この秋注目のイベントを中心に紹介します。

近くなった若狭と越前。この秋は、いつもより少し足をのばして、ふくいの歴史・文化を感じてみませんか。

その1 行こう！若狭路編

年縞のように、幾重にも重なる若狭の歴史



神と仏のおわす国にて 仏教文化を堪能



大飯高浜I.C



美しい自然の中で 豊かな文化遺産を体感



大飯高浜I.C

小浜西I.C・小浜I.C

上中I.C・三方I.C・美浜I.C

敦賀I.C・今庄I.C

武生I.C・鯖江I.C

福井I.C・福井北I.C

丸岡I.C・金津I.C

勝山I.C・大野I.C

その2 道路は続くよ♪越前編

丸岡城に東尋坊に あわら温泉… だけじゃないんです！



丸岡I.C・金津I.C

北越前

福井I.C・福井北I.C



古代から近代まで、お手軽タイムトラベル

中部縦貫道

今に生きる 伝統の技 そして信仰



武生I.C・鯖江I.C

勝山I.C・大野I.C



山深い奥越の地で 花開いた豊かな文化

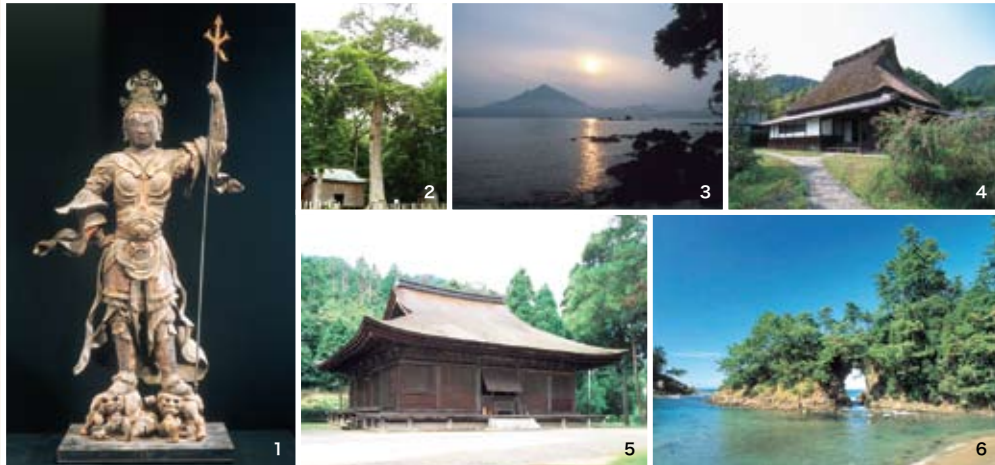
その3 さらに一足、奥越編

港に鉄道、賑わいあふれる 近代へタイムスリップ



敦賀I.C・今庄I.C

大飯高浜 IC



1 〔国重文〕木造毘沙門天立像（おおい町清雲寺）、2 〔県指定〕依居神社の大モミ（おおい町）、3 青葉山（高浜町）、4 若州一滴文庫（おおい町）、5 〔国重文〕中山寺本堂（高浜町）、6 明鏡洞（高浜町）

美しい自然の中で 豊かな文化遺産を体感

若狭富士といわれる青葉山や大島、青戸の入江など、自然豊かな大飯・高浜。

この豊かな自然の中でさまざまな文化が育まれました。この秋は秘仏の公開、企画展も目白押し。ぜひ大自然とともに豊富な文化財を体感してみてください。

イチオシ! 「みほとけの里 若狭の秘仏」文化財特別公開

通常公開されていない仏像等を特別公開します。期間中、毎年好評の文化財めぐりバスツアー、社寺のライトアップも実施します。

日時 9/13（土）～11/24（月・祝）
公開日程は寺院によって異なります。

場所 小浜市・おおい町・高浜町・若狭町の各寺院、
県立若狭歴史博物館、おおい町郷土史料館

問合先 県観光営業部文化振興課 TEL：0776-20-0572



馬頭観音坐像(高浜町・馬居寺)

注目① 今年は新公開の仏像が目白押し

木造馬頭観音坐像（高浜町・中山寺/国重文）
木造馬頭観音坐像（高浜町・馬居寺/国重文）
木造阿弥陀如来立像（おおい町・奥の堂/県指定）ほか

注目② 「秘仏めぐりバスツアー」

ふだんお目にかかれない秘仏を、ガイドの案内付でめぐるバスツアー。

〈小浜市・若狭町エリア〉

日時 9/13（土）～10/13（月・祝）の土・日・祝

料金等 1日コース 5,500円、半日コース 2,000円

〈おおい町・高浜町エリア〉

日時 10/18（土）～11/16（日）の土・日・祝

料金等 6,000円（1日コースのみ）

申込先 株式会社ミフクツーリスト TEL：0770-53-0329
※両エリアとも申込先同じ。



十一面千手観音立像（おおい町意足寺）

注目③ 「みほとけの里 ライトアップ」

ライトアップにあわせ、お茶会や音楽会などのイベントも開催。

日時 中山寺 10/12（日）、13（月・祝）
明通寺 10/25（土）、11/22（土）、23（日）
萬徳寺・神宮寺 11/22（土）、23（日）
各寺院とも 17：00～20：30（予定）

※詳しくは、「みほとけの里 若狭の秘仏」で検索、または、県文化振興課 TEL：0776-20-0572



明通寺本堂・三重塔(小浜市)

これも注目! 「涅槃図Ⅱ」展

釈迦の入滅を描いた涅槃図について、町内外で指定されている文化財を中心に展示します。

日時 10/25（土）～12/7（日）9：00～18：00（入館は17：30まで）

場所 おおい町立郷土史料館（おおい町成和 2-1-1）

料金等 無料

問合先 おおい町立郷土史料館 TEL：0770-77-2820

まだある 地域の歴史にふれるイベント 〈おおい町・高浜町〉

秋季ミニ企画展

みずかみつとむ 「水上勉没後10年展」～水上勉と禅、そして若狭へ～

おおい町・高浜町出身の禅宗の高僧とそれにまつわる人々の墨跡等を、若州一滴文庫と共催で、水上勉と縁がある高浜町でも展示公開します。

日時 10/1（水）～10/31（金）
9：00～17：00（入館は16：30まで）
休館 10/6（月）、15（水）、20（月）、27（月）

場所 高浜町郷土資料館
（高浜町南団地 1-14-1）

料金等 大人・高校生 200円
小・中学生 100円

問合先 高浜町郷土資料館
TEL：0770-72-5270

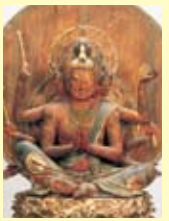


達磨画賛

文化財メモ 馬頭観音

旅の安全を守る神、また農耕の守護神として広く信仰されてきた馬頭観音。馬頭観音像は全国にそれほど多く残っていないにもかかわらず、なぜか若狭には集中して伝えられています。高浜町の中山寺、馬居寺、正楽寺、若狭町の天徳寺など。

今年は午年。干支にちなみ、若狭の馬頭観音めぐりをしてみたいかがでしょう。



馬頭観音坐像(高浜町・中山寺)

小浜西 IC・小浜 IC



1 〔国重文〕木造十一面観音立像（小浜市羽賀寺）、2 〔国重文〕木造千手観音立像（小浜市妙楽寺）、3 〔国重文〕神宮寺本堂（小浜市）、4 〔県指定〕若狭姫神社（小浜市）、5 〔国重文〕木造薬師如来坐像（小浜市国分寺）、6 〔国重文〕木造千手観音立像（小浜市谷田寺）

神と仏のおわす国にて仏教文化を堪能

若狭は「海のある奈良」ともいわれ、古い寺院が集中し、多くの仏像が伝わっています。若狭歴史博物館もリニューアルオープンし、ますます若狭の文化を堪能することができます。文化財の宝庫 小浜にて若狭の仏教文化に触れてみませんか。

イチオシ! 新しくなった 若狭歴史博物館

今年7月、県立若狭歴史民俗資料館が「県立若狭歴史博物館」としてリニューアルオープン。リニューアル記念展第Ⅱ部が9月から、第Ⅲ部が10月から始まります。

Ⅱ部「黄金の造形」

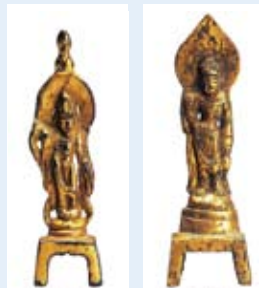
県立美術館とコラボし、唐代の金製品・仏像など、「金」をクローズアップ。

日時 9/5（金）～10/13（月・祝） 休館 9/24（水）
9：00～17：00（入館は16：30まで）

場所 県立若狭歴史博物館（小浜市遠敷 2-104）

料金等 一般 300 円（高校生以下、70 歳以上は無料）

問合先 県立若狭歴史博物館
TEL：0770-56-0525



金銅仏（福井県立美術館蔵）

Ⅲ部「新八幡・絵巻の世界」

後白河法皇が都で描かせた多数の絵巻の一部が、かつて若狭国遠敷郡の「新八幡宮」という神社に伝来していました。それらの謎にせまります。

日時 10/18（土）～11/30（日）
休館 10/14（火）、15（水）、16（木）、27（月）、
11/10（月）、25（火）
9：00～17：00（入館は16：30まで）
※場所、料金、問合先はⅡ部と同じ



彦火々出見尊絵巻（明通寺蔵）

まだある 地域の歴史にふれるイベント〈小浜市〉

山川家の家族愛

～貞蔵・ゑい・きみ・みち・登美子・亮～

山川登美子の家族間で交わされた自筆の手紙をご紹介します。

日時 7/26（土）～10/13（月・祝）
火曜休館（祝日の場合は翌日休館）
9：00～17：00（入館は16：30まで）

場所 山川登美子記念館
（小浜市千種 1-10-7）

料金等 大人 300 円、高・大学生 200 円

問合先 山川登美子記念館
TEL：0770-52-3221



山川登美子記念館



父・貞蔵から登美子への手紙

飯盛寺本堂茅葺見学会

茅葺屋根を葺替え中の国重要文化財・飯盛寺本堂にて、茅を葺く様子を間近で見学できます。

日時 11/16（日）10：30～
場所 飯盛寺本堂（小浜市飯盛寺 145-1）
料金等 無料
問合先 小浜市文化課
TEL：0770-64-6034

県内の文化財建造物に関する講演会

県内の茅葺きの建造物を含む文化財建造物に関する講演会。飯盛寺見学会とあわせてどうぞ。

日時 11/16（日）14：00～
場所 小浜市ふるさと文化財の森センター
料金等 未定
問合先 小浜市ふるさと文化財の森センター
TEL：0770-59-4030

国宝三重塔秋の特別開帳

てんはまフェスタ関連企画として通常非公開の三重塔内壁画を特別に公開します。

日時 9/13（土）～11/24（月・祝）
9：00～17：00

場所 明通寺（小浜市門前 5-21）

料金等 400 円

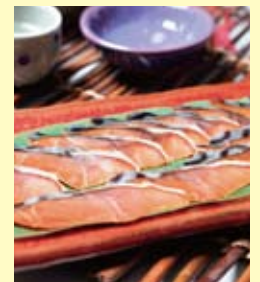
問合先 明通寺
TEL：0770-57-1355



三重塔

文化財メモ へしこ・なれずし

鯖の糠漬け、へしこ。若狭地方の郷土料理で、冬場の保存食として重宝されてきました。また、小浜のなれずしは、塩分を洗い流したへしこを、こうじと米飯で発酵させたものです。小浜市では、これら特徴ある二つの郷土料理の製作技法を市の文化財に指定し、保存継承を図っています。



へしこ



1 水月湖の年縞 (若狭町)、2 舟小屋 (若狭町)、3 若狭三方縄文博物館 (若狭町、1・5・6・9は同博物館)、4 [国重文] 荻野家住宅 (若狭町)、5 縄文時代の住居 (復元)、6 縄文土器、7 [国重文] 鳥浜貝塚出土の漆塗の櫛 (若狭歴史博物館蔵)、8 [国史跡] 脇袋古墳群 (若狭町)、9 縄文杉、10 [国名勝] 三方五湖 (美浜町・若狭町)

年縞のように、幾重にも重なる若狭の歴史

三方五湖のうち、水月湖の湖底に積もった土の堆積・年縞は、7万年以上の歴史を見ることが出来ます。世界的にも大変貴重で、地質学上の世界標準となり、近年注目を集めています。若狭の地に伝わる歴史文化も、ひじょうに多様で、まるで年縞のようです。

「若狭さとうみハイウェイの遺跡&縄文時代の動物園:鳥浜貝塚」

若狭さとうみハイウェイの沿線では、古来から人々の生活が営まれていました。若狭さとうみハイウェイ建設時の発掘成果やたくさん動物のいた縄文時代の遺跡・鳥浜貝塚を知れば、若狭さとうみハイウェイをより一層楽しめます。

日時 9/13 (土) ~ 11/30 (日)
9:00 ~ 17:00
月曜休館、祝日の場合は翌日休館

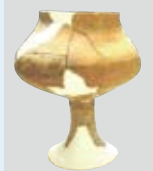
場所 若狭三方縄文博物館
(若狭町鳥浜 122-12-1)

料金等 大人 500円、小人 200円

問合せ先 若狭三方縄文博物館
TEL: 0770-45-2270



オオヤマネコの骨



ワイングラスに似た弥生土器

文化財メモ みかたごころ 三方五湖



三方五湖PAからの夕景

名前のとおり、五つの湖からなる名勝で、若狭湾国定公園に属します。三方五湖PAからは、三方湖が望め、国道からも立ち寄れるので、ぜひ名産品と一緒に楽しまれては。

まだある 地域の歴史にふれるイベント 〈若狭町・美浜町〉

第15回 熊川いっぶく時代村

国の重要伝統的建造物群保存地区の熊川宿で行われる秋の観光イベント。熊川の歴史や自然を活かした多彩な催しものが繰り広げられます。

日時 10/5(日) 9:00~16:00

場所 鯖街道 熊川宿 (若狭町熊川)

料金等 無料

問合せ先 熊川いっぶく時代村実行委員会
(熊川地区公民館内)
TEL: 0770-62-0135



荻野家住宅国重文指定記念展示 「熊川宿の間屋倉見屋~その歴史と建築~」

今年重要文化財に指定された熊川宿の旧間屋・倉見屋(荻野家住宅)の歴史と建物を紹介。

日時 10/21(火)~12/26(金) 9:00~17:30
月曜休館、祝日の場合は翌日休館

場所 若狭町歴史文化館 (若狭町市場 20-17)

料金等 無料

問合せ先 若狭町歴史文化館
TEL: 0770-62-2711

若狭町制10周年記念「第5回伝統文化のつどい」

福井県を代表する民俗芸能2団体と、町内民俗芸能2団体による舞台上演です。

日時 11/16 (日) 13:30 ~

場所 パレア若狭音楽ホール (若狭町市場 18-18)

料金等 無料 (要申込)

問合せ先 若狭町伝統文化保存協会 (若狭町歴史文化課内)
TEL: 0770-62-2711

鳥浜酒造酒蔵公開

大正9年の創業時に建てられた国登録文化財の酒蔵を公開します。

日時 10/1 (水) ~ 11/29 (土) 日曜日
9:30 ~ 15:00

場所 鳥浜酒造
(若狭町鳥浜 59-30)

料金等 無料 (要予約)

問合せ先 鳥浜酒造株式会社
TEL: 0770-45-0021



秋季企画展 『戦国の攻籠城戦 ~国吉籠城戦と各地の城攻め~』

国吉籠城戦を通して、戦国時代の攻籠城戦について展示。攻籠城戦の実態、城攻めの手段、城を守る方法等を紹介。

日時 10/25 (土) ~ 12/28 (日)
9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
※12月は10:00~16:30(入館は16:00まで)
月曜休館、祝日の場合は翌日休館

場所 若狭国吉城歴史資料館
(美浜町佐柿)

料金等 大人 100円、小人 50円

問合せ先 若狭国吉城歴史資料館
TEL: 0770-32-0050

美浜町歴史フォーラム ~若狭の塩、再考~ (現地探訪)

今回の歴史フォーラムでは、若き研究者たちが古代若狭の塩の生産と流通を語ります!

この壮大なテーマにどこまで迫れるか、ご期待ください!

日時 10/4 (土)
10:30 ~ 17:00

場所 美浜町生涯学習センター なびあす
(美浜町郷市 29-3)

料金等 無料 (申込不要、先着 100名)

問合せ先 美浜町文化財室
TEL: 0770-32-0027

お城博士中井均氏と国吉城探訪&講演 「若狭の要・国吉城~国吉籠城戦とその後~」

お城博士・中井均滋賀県立大学教授が、難攻不落の国吉城を現地で解説&資料館で講演会!

日時 11/30 (日)
(探訪) 10:00~12:00、(講演) 13:00~15:00

場所 国吉城址・若狭国吉城歴史資料館
(美浜町佐柿)

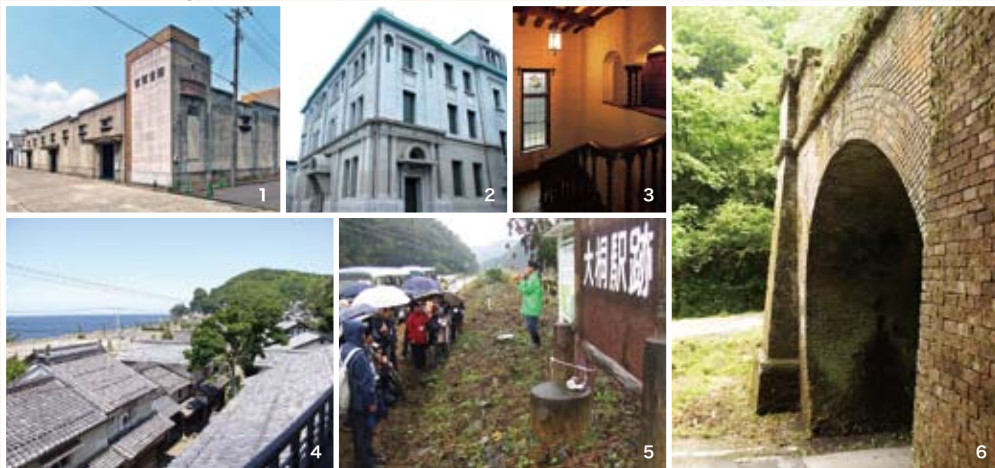
料金等 無料 (別途入館料必要
大人:100円、小人50円)

問合せ先 若狭国吉城歴史資料館
TEL: 0770-32-0050



若狭国吉城歴史資料館

敦賀 IC・今庄 IC



1 [国登録] 敦賀倉庫 (敦賀市)、2 [県指定] 旧大和田銀行本店 (敦賀市)、3 [国登録] 旧右近家住宅西洋館 (南越前町)、4 河野浦 (南越前町)、5 大桐駅跡 (南越前町)、6 山中隧道 (敦賀市・南越前町)

港に鉄道、賑わいあふれる近代へタイムスリップ

古来より海運の拠点として栄えた敦賀港。明治には鉄道が整備され、海・陸運両方の要地として大変な賑わいをみせました。また、敦賀の北、河野も北前船主が活躍し、往時の繁栄を物語る町並みが残されています。モダンな近代の香りを感じてみては。

イチオシ! 近代化遺産周遊バスツアー

敦賀市・南越前町にまたがる明治29年完成の旧北陸本線隧道群をはじめ、北陸道の宿場町・今庄宿、北前船主の館など、近代化遺産を中心に巡るバスツアーを運行。パッケージ復刻の駅弁付。

日時 9/13(土)、21(日)、10/4(土)、12(日)
10:45 (JR 敦賀駅集合) ~ 17:50

場所 敦賀駅—旧北陸線隧道群—今庄宿
—北前船主の館—敦賀港・鉄道資料館—敦賀駅

料金等 4,980円 (要申込)

問合先 京都新聞旅行センター
TEL: 075-256-2233

文化財メモ

旧北陸線隧道群



往時の車窓風景

明治29年、敦賀～富山間を結ぶ国鉄北陸線が開業。中でも峠越えの難所であった敦賀～今庄間には12か所もの隧道(トンネル)があり、黒煙満ちた隧道の間合、乗客たちは杉津駅からの景色に癒されたといわれます。旧杉津駅は現在の北陸道杉津PA(上り)にあたり、隧道はなんと10か所が現在も道路として使われています。

これも注目! 旧国鉄北陸線ウォーキング大会

旧北陸線を歩く、鉄道ファン必見のウォーキング大会。10kmと20kmの2つのコース。

日時 10/19(日) 8:00~

場所 旧国鉄北陸線(今庄駅~杉津PA)

料金等 大人2000円 小人1500円(要申込)

問合先 南越前町今庄観光協会(TEL: 0778-45-0074)

まだある 地域の歴史にふれるイベント (敦賀市・南越前町)

第30期敦賀市民歴史講座 「敦賀をめぐる人物誌」

郷土ゆかりの人物に焦点をあてた歴史講座です。

① 「近代敦賀地域における天狗党の顕彰と研究」
講師: 岩立将史氏 (東京工業高等専門学校)

日時 10/4(土) 14:00~

場所 敦賀市立図書館3階研修室

料金等 無料 定員100名(申込不要・先着)

問合先 気比史学会西ノ上
TEL: 0770-23-7577

② 「峠を越えた群像—文学に垣間見る敦賀—」
講師: 川村俊彦氏 (敦賀市教育委員会)

日時 11/8(土) 14:00~

③ 「埋もれた近代敦賀の指導者たち
—片山政治郎・山本九二三郎・野口芳雄—」
講師: 多仁照廣氏 (元敦賀短期大学教授)

日時 12/6(土) 14:00~

※各回ともに場所、料金、問合先①に同じ

西福寺 無料公開

国重要文化財の御影堂・阿弥陀堂・書院及び庫裏と国名勝の書院庭園を、特別に無料公開します。

日時 11/3(月・祝)
9:00~17:00

場所 西福寺(敦賀市原13-7)

料金等 無料 ※通常は一般300円で公開

問合先 西福寺 TEL: 0770-22-3926



伊藤氏庭園特別公開

代々大庄屋をつとめた伊藤氏。通常非公開の国名勝庭園を公開します。

日時 10/12(日)
13:00~16:00

場所 伊藤氏庭園(南越前町瀬戸29-2)

料金等 無料 要申込

問合先 南越前町教育委員会 今庄事務所
TEL: 0778-45-8003



高台カフェ 西洋館

近頃『死ぬまでに見たい洋館の最高傑作II』で紹介された、日本海を一望できる登録文化財の西洋館。期間限定でカフェをオープン。

日時 10/3(金)~10/26(日)の金・土・日・祝日
カフェタイム11:00~17:30
(通常公開は9:00~16:00)

場所 旧右近家住宅西洋館
(南越前町河野2-15)

料金等 ペアチケット
(入館料、ドリンク、スイーツ込)
1,600円他

問合先 南越前町会計室
TEL: 0778-47-8011



武生 IC・鯖江 IC



1 [国重文] 大滝神社 (越前市)、2 越前和紙、3 越前焼、4 越前焼登窯、5 [県指定] 稲荷の大杉 (池田町)、6 [国重文] 越前和紙の製作用具 (越前市)、7 [県指定] 三田村氏庭園 (越前市)、8 [国登録] 寿屋対碧亭 (越前市)、9 [県指定] 劔神社 (越前町)、10 漆器、11 [国重文] 堀口家住宅 (池田町)

今に生きる 伝統の技 そして信仰

昨年度、国の重要有形民俗文化財に指定された「越前和紙の製作用具」。産地の五箇地区では、現在も和紙製作が盛んに行われています。他にも、鯖江の漆器や宮崎の越前焼などの産業が古来より続いています。紙の神社や大杉など、パワースポットも。

イチオシ! 和紙文化 in 越前

越前和紙をテーマに、イベントを開催します。産地見学会では、通常非公開の工房も含めた五箇地区内の紙漉き工房を自由に見学できます。

①第 22 回和紙文化講演会 「越前和紙の伝統と創造の世界」

講演：名児耶明氏 (公益財団法人五島美術館常務理事副館長)、石川満夫氏 (元福井県和紙協同組合理事長)、増田勝彦氏 (和紙文化研究会副会長)

日時	11/24 (月・祝) 13:00 ~ 17:30
場所	いまだて芸術館 (越前市粟田部町 11-1-1)
料金等	1,500 円 (要申込)
問合せ先	福井県和紙工業協同組合 (TEL:0778-43-0875)

②展覧会 「Echizen 和紙を創作する」

日時	11/15(土)~12/14(日)火曜休館 9:00~16:00
場所	卯立の工芸館 (越前市新在家 9-21-2)
料金等	大人 200 円、小中生 100 円



卯立の工芸館

③産地見学会「越前紙漉き工房を自由に見学」

日時	11/25 (火) 9:00 ~ 12:00
場所	越前市五箇地区内の紙漉き工房
料金等	大人 1,000 円、高校生以下 500 円 (地図・記念品代含む) ※問合せ先は①と共通。



五箇地区の家並み

まだある 地域の歴史にふれるイベント<武生市・鯖江市・池田町・越前町>

第 7 回ふくいふるさと祭り

県内各地の民俗芸能が一堂に会する貴重な機会です。

日時	10/26 (日) 13:30 ~ 16:00
場所	能楽の里文化交流会館 (池田町藪田 5-1)
料金等	無料
問合せ先	県生涯学習・文化財課 TEL: 0776-20-0579



水海の田楽・能舞

登録文化財「すやたいへきまてい 寿屋対碧亭」特別公開

昨年度、登録文化財になった旅館・寿屋の茶室「対碧亭」を特別に公開します。



日時	10/1(水)~11/30(日) 10:00~16:00
場所	寿屋対碧亭 (越前市粟田部町 29-4-1)
料金等	無料 (要申込) ※ 11/24(月・祝)のみ終日公開、申込不要
問合せ先	寿屋 TEL: 0778-42-0022

平成 26 年度企画展 「天皇の料理番 秋山徳蔵」

明治 21 年に現越前市村国で生まれ、58 年間天皇家と宮中宴席の料理をとりしきった秋山徳蔵の生涯と業績を紹介します。

日時	10/3 (金) ~ 11/9 (日) 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)
場所	越前市武生公会堂記念館 (越前市蓬萊町 8-8)
料金等	大学生以上 200 円
問合せ先	越前市武生公会堂記念館 TEL: 0778-21-3900

文化財メモ 紙の神様をまつる 大瀧神社

江戸末期建築の本殿と拝殿は瀧が流れるかのように、複雑にいくつもの屋根が重なる。彫刻も随所に施され、本殿板壁には、中国の故事を題材にした人物等の姿も。国の重要文化財で、県内随一の華麗な社殿は、県外のファンも多いとか。



本殿板壁の彫刻

間部詮勝プロジェクト 企画展 間部詮勝の時代

幕府老中として国政にあたった鯖江藩第 7 代藩主間部詮勝公の藩主就任 200 年を記念して、活躍した時代背景をジオラマと歴史資料展示の 2 つの手法で表現します。

日時	11/1(土)~11/23(日)9:00~17:00
場所	鯖江市まなべの館 (鯖江市長泉寺町 1-9-20)
料金等	大人 100 円、中学生以下無料
問合せ先	鯖江市まなべの館 TEL: 0778-53-2257

伝統芸能 in まなべミュージアム

古典の日制定記念として、市民団体による文楽・狂言の公演とワークショップを実施します。

日時	11/1 (土) 13:00 ~ 15:00
場所	鯖江市まなべの館 (鯖江市長泉寺町 1-9-20)
料金等	無料
問合せ先	鯖江市まなべの館 TEL: 0778-53-2257

福井 IC・福井北 IC



1 [国名勝] 養浩館庭園 (福井市)、2 福井城跡 (福井市)、3 南無仏太子像 (永平寺町本覚寺)、4 戦国時代の金とガラス、5 発掘調査風景、6 土器焼き、7 橘曙覧記念文学館 (福井市)、8 おさこえ民家園 (福井市)

古代から近代まで、お手軽タイムトラベル

古代も、戦国時代も、江戸時代も、近世も、近代も…各時代のいろんな暮らしを、見て、体験できる今年の秋の福井。博物館、美術館が集中しているので、お手軽にタイムトラベルしてみませんか。

イチオシ! 「真宗の美」展

親鸞聖人 750 回大遠忌を記念して、県内真宗寺院所蔵のゆかりの品々と、西本願寺の法宝物・美術品をあわせた、国宝 2 点、重要文化財 9 点を含む約 110 点を一堂に展示します。

日時 9/26 (金) ~ 10/26 (日)
月曜休館 (祝日の場合は翌日休館)
9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)

場所 県立美術館 (福井市文京 3-16-1)

料金等 一般 1200 円、大・高生 800 円、
中・小生 500 円

問合せ先 県立美術館
TEL : 0776-25-0452



南無仏太子像 (永平寺町・本覚寺蔵)



三十六人家集 (京都市・西本願寺蔵)

文化財メモ

真宗王国・福井

福井県内には、700 を超える真宗寺院があります。福井で真宗を広めたのは、浄土真宗本願寺の第 8 代法主の蓮如上人でした。吉崎御坊に坊舎を建て、北陸布教の基礎を固めました。毎年秋には、開祖・親鸞の法要「報恩講」が県内各地で行われます。



蓮如上人像

まだある 地域の歴史にふれるイベント 〈福井市〉

企画展 「戦国時代の金とガラス きらめく一乗谷の文化と技術」

戦国時代の「金」や「ガラス」にスポットを当て戦乱の世における文化や生産・制作技術を紹介。

日時 9/20 (土) ~ 11/9 (日)
9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

場所 県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
(福井市安波賀町 4-10)

料金等 一般 400 円、
大高生 300 円、
中小生 200 円

問合せ先 県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
TEL: 0776-41-2301 山科本願寺跡出土ガラス玉 (京都市考古資料館蔵)



杉田玄白『解体新書』発刊 240 年 記念特別展 「翻訳のチカラ」

今年で発刊 240 年となる「解体新書」や、編集にあたった杉田玄白を紹介。

日時 10/18 (土) ~ 11/30 (日)
9:00 ~ 17:00

場所 県立子ども歴史文化館
(福井市城東 1-18-21)

料金等 無料

問合せ先 県立子ども歴史文化館
TEL : 0776-21-1500

秋季特別展 「徳川将軍家の名宝」

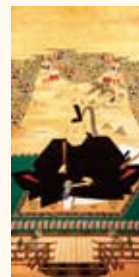
徳川将軍家ゆかりの名宝を展示します。将軍家の格式と威厳、そして将軍とその夫人たちの教養や優雅な生活について紹介します。

日時 10/17 (金) ~ 11/24 (月・祝)
11/4 (火) 休館
9:00 ~ 19:00
(※11/6以降は17:00まで)
(入館は閉館の 30 分前まで)

場所 福井市立郷土歴史博物館
(福井市宝永 3 丁目 12-1)

料金等 一般 600 円、
中学生以下・70 歳以上無料

問合せ先 福井市立郷土歴史博物館
TEL : 0776-21-0489



東照大権現像 (徳川記念財団蔵)

秋季特別展 「竹取物語への招待」

日本最古の物語とされる『竹取物語』について、絵巻や注釈書、関連の書籍を通してご紹介します。

日時 10/4 (土) ~ 11/24 (月・祝)
9:00 ~ 17:15 (入館は 16:45 まで)

場所 橘曙覧記念文学館
(福井市足羽 1 丁目 6-34)

料金等 一般 200 円、70 歳以上・中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料

問合せ先 橘曙覧記念文学館
TEL : 0776-35-1110

企画展 「墨書土器の世界」

市内出土墨書土器を通じて当時の人々の生活を探ります。

日時 10/11 (土) ~ 11/9 (日)
9:00 ~ 17:00

場所 福井市文化財保護センター
(福井市洲 4 丁目 748)

料金等 無料

問合せ先 福井市文化財保護センター
TEL : 0776-35-1015



テーマ展 「越前松平家伝来の将軍家の遺宝」

上記特別展に関連して、徳川将軍家から福井藩主松平家が拝領した品々を紹介します。

日時 10/17 (金) ~ 12/14 (日)
11/4 (火)、25 (火)、26 (水) 休館
9:00 ~ 19:00 (入館は 18:30 まで)
(※11/6以降は17:00まで)

料金等 一般 210 円、中学生以下・70 歳以上無料
※場所・問合せ先とも上記と同じ

カマドでご飯を炊こう

市指定文化財の古民家にてカマドでご飯を炊いてオニギリを作ります。合わせて紙芝居など、昔なつかしい体験ができます。

日時 10/19 (日) 9:00～12:00

料金等 無料 (別途入園料 100 円必要)
要申込 (50 名)

場所 福井市おさこえ民家園
(福井市月見 5 丁目 4-48)

問合先 福井市おさこえ民家園
TEL: 0776-34-3794

そばうち体験

昔ながらにソバをうち、カマドで茹でます。石臼での製粉体験も。

日時 11/23 (日) 9:30～12:00

料金等 300 円
要申込 (定員 15 組 30 名)
※場所、問合先とも上記と同じ

古代アクセサリーブクリ

遺跡出土のガラス玉を参考に、ガラスを溶かしてアクセサリーを作成します。

日時 10/26 (日) 13:30～15:30

料金等 300 円、要申込 (定員 20 名)

場所 福井市文化財保護センター
(福井市洲 4 丁目 748)

問合先 福井市文化財保護センター
TEL: 0776-35-1015

土器づくり・土器焼き

遺跡から出土した土器を観察しながら、当時の技法で土器を作成します。

①土器づくり

日時 10/11(土)・10/19(日)
13:30～16:00

料金等 300 円、要申込 (各回定員 20 名)

②土器焼き

日時 11/1 (土)
9:00～16:00

料金等 無料
※場所、問合先とも上記と同じ



土器焼き

11・12月月替展示「若き春嶽の毎日 —新発見の御用日記から—」

藩主の側近が残した日記を通して、幕末の福井藩主松平春嶽の日常を紹介します。

日時 10/24 (金)～12/24 (水)
月曜・第4木曜休館、祝日は翌日休館
9:00～17:00

場所 福井県文書館閲覧室(福井市下馬町51-11)

料金等 無料

問合先 県文書館 TEL: 0776-33-8890

企画展「白山曼荼羅」(仮)

白山曼荼羅とは、白山の神々の姿を描き、信仰の内容をわかりやすく示したものです。全国の白山曼荼羅を一堂に集めて紹介します。

日時 10/25 (土)～11/24 (月・祝)
9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)

場所 県立歴史博物館 (福井市大宮 2-19-15)

料金等 一般 400 円、大学・高校生 300 円、
小中学生・70 歳以上 200 円

問合先 県立歴史博物館
TEL: 0776-22-4675

考古学講座

遺跡の発掘や研究について、体験や講座を通して学びます。

①「福井城跡発掘現場体験」

日時 10/25 (土) 14:00～

場所 福井城跡発掘現場

料金等 無料 (要申込・定員 20 名)

問合先 県教育庁埋蔵文化財調査センター
TEL: 0776-41-3644

②「福井城跡の瓦」(仮題)

日時 11/16 (日) 14:00～

場所 県立図書館研修室

料金等 無料

③「福井城跡の木製品」(仮題)

日時 11/30(日)14:00～

場所 県立図書館研修室

料金等 無料
※各回とも問合先同じ



丸岡 IC・金津 IC



1 [国登録] 旧森田銀行本店 (坂井市)、2 [国名勝] 瀧谷寺庭園 (坂井市)、3 三國バーガー (坂井市)、4 [国登録] 藤野殿九郎記念館 (あわら市)、5 北潟湖 (あわら市)

丸岡城に東尋坊にあわら温泉…だけじゃないんです！

全国区の超有名どころが集まる、坂井市とあわら市。でも他にも超おすすめがいっぱい。北前船で栄えた三國湊の町並みで食べ歩きもよし、北潟湖でのんびりもよし◎

イチオシ! 「樋山地区で発掘された製塩遺跡 ～北潟湖周縁の歴史と生業～」

昨年度発掘調査を行った、あわら市・樋山遺跡の速報展と報告会を行います。

①企画展

日時 9/9 (火)～12/23 (火・祝) 9:30～18:00 (入館は 17:30 まで)

場所 金津本陣 IKOSSA 2 階 (あわら市春宮 2-14-1)

料金等 無料

問合先 あわら市郷土歴史資料館 TEL: 0776-73-5158

②調査報告会「樋山遺跡の調査」

日時 11 月下旬

場所 金津本陣 IKOSSA 3 階 (あわら市春宮 2-14-1)

料金等 無料

※問合先は上記と同じ



製塩の炉跡

特別展「十郷用水ものがたり～その伝説と歴史～」

坂井平野を潤す十郷用水の歴史は古く、平安時代に開削されたといわれます。その長い歴史にせまります。

日時 11/1 (土)～12/7 (日) 9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)

場所 みくに龍翔館 (坂井市三國町緑ヶ丘 4-2-1)

料金等 高校生以上 300 円、中学生以下 150 円

問合先 みくに龍翔館 TEL: 0776-82-5666

勝山 IC・大野 IC



1 〔国史跡〕白山平泉寺旧境内（勝山市）、2 白山三ノ峰、3 〔国登録〕平成大野屋（大野市）、4 恐竜博物館（勝山市）、5 大野七間朝市（大野市）、6 〔国天然記念物〕イトヨ（大野市）、7 〔市指定〕〔国近代化遺産〕ゆめおーれ勝山（勝山市）、8 白山平泉寺歴史探遊館まほろば（勝山市）、9・10 大野城下と大野城（大野市）

山深い奥越の地で花開いた豊かな文化

山深い奥越の地に生まれた、中世の都市・平泉寺、近世の城下町・勝山と大野。豊かな自然を舞台として、さまざまな歴史が連続と紡がれてきました。今年7月、恐竜博物館の野外恐竜博物館もオープン。一足のぼして、豊かな文化も一緒に感じてみませんか。

イチオン! 結の故郷発祥祭記念事業「大野出目家の能面」

大野郡は中世から近世にかけて全国的にも有名な面打師を生み出しました。この展示会では、彼らの名品を集めて公開します。

展示

- 日時** 10/11（土）～11/3（月・祝）9：00～16：00（日・祝は17：00まで）
- 場所** 大野市歴史博物館（大野市天神町2-4）
- 料金等** 500円、中学生以下無料
- 問合せ先** 大野市歴史博物館 TEL：0779-65-5520

講演会

講師：桑田能忍氏（池田町能面美術館前館長）

- 日時** 10/19（日）13：30～15：00
- 場所** 多田記念有終会館「結とびあ」303号室（大野市天神町1-19）
- 料金等** 無料（要申込、定員50名）
※問合せ先は上記と同じ



水海の能舞（池田町）

まだある 地域の歴史にふれるイベント〈勝山市・大野市〉

武家屋敷旧内山家 いろいろ火

武家屋敷の旧内山家にて、いろいろ火にあたりながら、ゆったりとした一時を過ごしませんか？

- 日時** 11/15（土）10:00～15:00
- 場所** 武家屋敷旧内山家（大野市城町10-7）
- 料金等** 無料
- 問合せ先** 武家屋敷旧内山家
TEL：0779-65-6122



白山神楽 姫神演奏会

多方面での音楽活動をおこなっているシンセサイザーの姫神が、緑の静寂に包まれる平泉寺を舞台にあらごの音楽を奏でます。

- 日時** 10/4（土）16:00～17:00
- 場所** 白山平泉寺歴史探遊館まほろば
屋外広場（勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12）
- 料金等** 無料
- 問合せ先** 勝山市教育委員会史蹟整備課
TEL：0779-88-8113

文化財メモ① 「出目家」

能の面をつくる人を「面打師」といいます。江戸時代の面打師は、大野出目家（大野市）、越前出目家（越前市）、近江井関家（滋賀県長浜市）が活躍しました。大野出目家初代の是随吉満は、豊臣秀吉から「天下一」の称号を授かった名人でした。この三家は、越前国平泉寺の僧で室町時代末期に出た三光坊満広の弟子といわれています。



是開中湯食小（彦根城博物館蔵）

文化財メモ② 見納め!? 旧木下家住宅

江戸時代の庄屋さんのお家です。現在の家は、約170年前に永平寺大工によって建てられました。越前を代表する大きな茅葺民家で、国の重要文化財に指定されています。建物の本格的な修理は、約150～200年周期で、いま修理の時期を迎えています。ぜひ今だけの、建築当初のままの木下家をのぞいてみてください。

毎週水・土・日の午前中に囲炉裏をたいて、公開中です。修理中は工事現場見学会を予定。（問合せは、勝山市教育委員会 TEL：0779-88-8113）



史跡見学会 「白山平泉寺旧境内を歩こう」

観光ガイドボランティアの解説を聞きながら、国史跡白山平泉寺旧境内を散策します。

- 日時** 10/5（日）、10/12（日）、10/13（月・祝）、10/19（日）、11/2（日）、11/3（月・祝）
10:30～12:00、13:30～15:00
- 場所** 白山平泉寺歴史探遊館まほろば
（勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12）
- 料金等** 無料
- 問合せ先** 白山平泉寺歴史探遊館まほろば
TEL：0779-87-6001



復元された門と土塀